

(様式2)

平成 27 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 1571300449 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 遊生会 | | |
| 事業所名 | まいらいふ吉田 | | |
| 所在地 | 新潟県燕市吉田旭町4丁目5番21号 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年12月29日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.jp/15/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=1571300449-00&PrefCd=15&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人ウェルフェアー普及協会 | | |
| 所在地 | 新潟県三条市東三条1-6-14 (調査事務局:新潟県三条市高岡155) | | |
| 訪問調査日 | 平成28年2月8日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

若年性認知症・高齢者認知症の人が住み慣れた地域での家庭的な環境の下で、安心して楽しく自立的な、生活を送れるよう支援する。なお、この支援が効果的に行えるよう、日々認知症高齢者介護に関する知識および、技術向上の為の研修を重ねるとともに、それぞれの家庭との連帯・協力を大切にします。地域との連帯・交流を積極的に深めていく事により、社会的に富んだ運営に努めています。また、若年性認知症の人の受け入れにも協力して支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成17年10月に開設されて11年目のグループホームである。近辺には商業施設が多く利便性の高い立地でありながら、公園に隣接した静かで暮らしやすい環境である。公園に遊びに来る園児や登校中の中学生と気軽に挨拶を交わし、近所の方からは差し入れを頂いたり話し相手になってもらうなど日頃より地域の方と触れ合う機会が多い。また地域の茶の間や清掃活動にも参加するなど地域交流を積極的に図っている。ホームに入ると利用者の歌声や笑い声が聞こえ、明るく活気がある。調理や掃除・洗濯たたみなど出来ることは、職員からお願いしなくても自ら行なってくれており、一人ひとりが役割を持って生活している。時間の制約はなく、夜は眠くなるまでリビングで職員とテレビを見ながらおしゃべりするなど自由に過ごしている。

職員は法人研修に参加し、知識・技術の向上に努めている。現在は若年性認知症の方を支援するため、勉強会で学び対応を検討している。日々利用者と関わる中で信頼関係を構築し、一人ひとりが穏やかに過ごせるよう個別ケアに取り組んでいる。家族からも本人の状態をよく理解し介護してくれると感謝され信頼を得ている。外出が好きな利用者が多く、日常的に買い物や散歩に行ったり、ぼたん園やバラ園・弥彦の菊まつりなど様々な場所に出かけ、四季の移り変わりを感じながら気分転換できるよう努めている。また時には職員が介入せず見守ることで、利用者同士が共に助け合い支え合う場面を引き出し、その方の個性や持てる力が活かされるよう支援している。入院による環境の変化で認知症の症状が進んでしまった方もホームの生活に戻ることによって症状が改善することもあり、馴染みの環境の中でケアすることの大切さを実感している。職員が一丸となり、馴染みの環境の中で利用者にも明るく接し笑顔を引き出すことで穏やかに楽しく生活できるよう支援している事業所である。